

古都蘇州と庭園文化 — その魅力を探る（全2回）



◀ 留園



▲ 拙政園

中国屈指の文化芸術都市、また庭園都市として名高い蘇州は、古くから水の都としても知られてきました。第1回では、蘇州という街の魅力と、名園成立の背景を探り、世界でも最古の詳細な都市図「平江図」（国宝の石碑）等も紹介するとともに、特に明代の著名な文人たちの活動中から作庭の機運が生まれたこと等を解説します。第2回では、現在保存されている45庭程の名園中から、世界文化遺産に登録されている9名園を画像で紹介し、数々の造形特色を知って頂きます。

講師 吉河 功（よしかわ いさお）

1941年生まれ。芝浦工業大学建築科で主に古建築・古庭園の研究を専攻。在学中より京都にて重森三玲氏の薫陶を受け、卒業後「日本庭園研究会」を創立、会長に就任と同時に専門誌『庭研』を創刊。以後、全国の古庭園を調査研究し、多数の古庭園復元整備等に努力。1983年故茅誠司氏の後援を得て初訪中し、以来中国の庭園関係者と親交を結び、中国庭園の研究にも着手。2003年から大妻女子大学非常勤講師として日本庭園と中国庭園を講義。中国庭園に関する著作・論文も多く、現在蘇州市と杭州市の風景園林学会名誉理事に就任している唯一の外国人でもある。

開催概要

10月15日（土） 第1回「蘇州はなぜ中国一の庭園都市になったのか —その歴史と文化」
10月22日（土） 第2回「世界文化遺産登録の九名園—美しさの秘密」

【両日とも共通】

- 時間：14:00～15:30（13:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：2,000円（全2回）※各回でのお申し込みは出来ません。
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。